

2021年11月18日

各位

株式会社ナカニシ

## グリーン電力への切り替えによる「CO2ゼロ・ものづくり」の開始について

株式会社ナカニシ（栃木県鹿沼市、代表取締役社長執行役員：中西英一）は、2021年12月1日から国内生産拠点（本社工場・A1工場）で使用する電力を、太陽光発電を含む再生可能エネルギー（グリーン電力）に100%切り替え、「CO2ゼロ・ものづくり」を開始いたしますので、お知らせします。

### 記

激しい気候変動を伴う地球温暖化への対応は喫緊の課題となっており、パリ協定やSDGs（持続的な開発目標）等の国際的な取り組みが活発化しています。また、昨年10月には政府が「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指す方針を表明する等、脱炭素社会に向けた動きは国内でも加速しています。

当社は1999年にISO14001環境マネジメントシステムを取得して以来、生産拠点の環境保全や太陽光発電の導入、地下水循環型空調システムの導入、空調自動制御システム等を取り入れながら、エネルギー使用量の低減に努めてきましたが、グローバルに活動する当社として、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの一翼をより積極的に担うべく、さらなる施策として国内の生産活動で消費するエネルギーをすべて太陽光発電由来のグリーン電力に切り替えることを決定しました。

小売電気事業者である株式会社エナリス・パワー・マーケティング（東京都千代田区神田駿河台、代表取締役社長：下川伸康）と電力購入契約を締結し、12月1日から利用開始します。事業年度毎にGHG排出量を算定し、第三者機関による検証を受けながら、排出量の妥当性を確保しつつ、「CO2ゼロ・ものづくり」を推進していきます。

将来的には「環境イニシアチブ」の取得も視野に入れながら、事業活動全体（サプライチェーン全体）で排出される温室効果ガスの削減にも積極的に取り組み、歯科医療機器業界における脱炭素社会を推進するリーディングカンパニーとしての社会的責任を果たしてまいります。

## サプライチェーンを含めた温室効果ガス低減に向けた取り組みについて

地球規模で環境への関心が高まる中、企業は情報開示の一環として環境への取り組みを公表する事例が増えてきています。このような中、当社は自社の事業活動における温室効果ガス排出量のみならず、サプライチェーン全体における排出量を把握・管理することを重要視し、GHG（GreenHouse Gas）排出量算定に関する国際基準「GHG プロトコル」や環境省の「サプライチェーンを通じた GHG 排出量算定に関する基本ガイドライン」等に基づき、事業活動による排出（Scope1・Scope2）および事業活動範囲外での間接的排出（Scope3）の把握・算定と削減にも努めていきます。



今回、図表に示す「Scope2」の生産活動で使用するエネルギーを再生可能エネルギー由来の電力に切り替え、温室効果ガスの排出量をゼロにしました。原材料の調達やお客様の製品使用时・廃棄段階での温室効果ガスの排出を測る「Scope3」においては、当社製品の省電力化や小型・軽量化を推進するとともに、物流の見直し等を通じて排出量の削減を図っていきます。

当社は、環境配慮製品を創出する事がより多くのビジネスチャンスを生み出す事にもつながると考えており、気候保護プロジェクトへの積極的な参画も視野に入れながら、事業戦略の推進と環境課題への取り組みを一体のものとして捉え、カーボンニュートラルの実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

以上